

若 鮎



HPで活動の様子を
紹介しています。

「勉強する」から「学ぶ」へ

校長 竹内 聖子

3学期も残り約1か月となりました。子供たちは、これまで頑張ったことや自分の成長を振り返りながら、一人ひとり次のステップに向けて意欲を高めているところです。

さて、先日、全校集会があり、そこで子供たちに次のような問いを投げかけました。

「勉強するって、どういうこと？」「なんで、勉強するの？」「宿題は、しなくてもいいの？」と…。この問いに答えを返してくれた子は12人ほどいましたが、なるほどなあという答えばかりでした。「勉強するのは**自分のため**。将来困らないように勉強する。」「勉強するといろんなことが**分かるようになる**。賢くなる。」「社会に出てから**役に立てるため**勉強する。」「勉強するのは、『人のため』にもなる。」「…。顔をしながら聞いている子供たちの様子から、ほとんどの児童が「**勉強は自分に必要なもの**」と捉えていることが分かりました。さすが谷浜小の子供たちだと感心します。**令和の日本型教育が目指す「自分の興味・関心に応じて意欲を高めて学ぶ」**姿に近い姿です。

私たちの子供時代なら、どう答えたでしょう。勉強は「強いる（強いられる）もの」というイメージをもち、「辛く苦しいけれど我慢して頑張るもの」と答えたと違いありません。私の担任時代は「計算ドリル3回ずつ繰り返す！」と強いていたことを思い出しました。今思えば・・・です。しかし、時代は変わりました。なぜ変わったのかというと、強いる学習では創造的な思考が育ちにくいからです。今やAIの進歩は留まるところを知らず、人間の仕事を脅かす時代になっています。「創造的・探求的に学ぶこと」や「協働的に学びをつくること」の重要性がますます高まってくるはずです。

では「宿題」は「強いられる勉強」でしょうか。宿題では身に付けるべき学習内容を課題にすることも多く、身に付けるためには何かしらの努力は必要なので、「強いる勉強」という感じもします。先ほどの集会で「宿題は、自分が困らないならしなくてもよい」と答えた子がいました。「その学習内容を十分理解しているので、その宿題はやらなくて大丈夫」という意味のようです。考えさせられる答えです。ここで、一つ言えることは、意欲を高めて学ぶとは「嫌なことは避けて、やりたいことだけやる」のではなく、「**学ぶ方法や目的を考えて主体的に学ぶ**」ことだということです。

さて、右下の写真を見てください。これは今年度初めての試みである「ハッピーフェスティバル」の様子です。この写真は「子供たちは主体的に学ぶ『有能な学習者』である」ことを証明しています。子供たちは、園児さんを楽しませようという目標に向かって、やることを決め、アイデアを出し、主体的に行動し、仲間と話し合っ課題をクリアして当日を迎えました。子供たちは、学びたくなる環境（課題・行動選択・場所・材料）があれば、大人が強いなくても学んでいくのです。この活動が充実した学びだったことは子供たちの表情で分かりました。

次に集会で同じ問いをするときには「勉強するのは楽しくておもしろいから」という答えが返ってくるよう環境づくりを頑張ります。**子供が自ら学びたくなる環境を整えるのは、周りにいる大人たち（学校や家庭・地域）の大事な役割**ですから



12～2月 キラキラ輝く子供たち ～教育活動の紹介

1月15日 3・4年生 地域の伝統行事「嫁祝い」「焼き草集め」を体験

3・4年生が、西横山の小正月行事に参加しました。「焼き草集め」では、ヌルデの太刀を持ち、集落の家々の玄関先で挨拶をして、ワラや豆柄などを集めました。あいにくの悪天候でしたが、寒さに負けずに最後まで頑張りました。そして「嫁祝い」では、ヌルデの太刀を花嫁の頭上で打ち鳴らしながら、元気よく祝い唄を歌い、花嫁を祝福しました。

その後、西横山小正月行事の映像を鑑賞し、伝統行事の大切さやそれを守ることの意義を学びました。最後につきたてのお餅をみんなで美味しくいただいたり、お菓子を頂戴したりして、疲れも吹き飛んだようでした。



1・2年生「雪遊び」 3～6年生「スキー教室」で、雪を満喫！



1月24日に、1・2年生が、くわどりゆったり村の近くの森で、「冬の森探検・雪遊び」の活動を行いました。かみえちご山里ファン倶楽部の皆さんから冬の森の不思議について教えていただき、子供たちは冬の森が好きになったようでした。さらに、山の斜面を肥料袋で大胆に滑り下りたり雪合戦やかまくら作りをしたりして、雪を思う存分楽しむことができました。

1月31日には、3～6年生が、キューピッドバレイスキー場でスキー体験をしました。子供たちは、指導する方の話をよく聞いて技術を向上させました。転んでも起き上がって滑る姿に、雪国の子供のたくましさを感じました。

冬の活動にご協力いただいた谷小応援団や保護者ボランティアの皆様にも、深く感謝いたします。



1月10日 書初め会 1月27日 新年句会 で、技術アップ！！

1月10日は全校書初め会を行いました。低学年は硬筆、3～6年生は毛筆で課題の文字を書きました。2学期から何時間も練習を積み重ね、地域の先生から教えてもらったり冬休みの課題で頑張ったりして、一生懸命に練習しました。書初め会では、コンクール出品に向けて集中して書字に取り組みました。皆、素晴らしい作品を仕上げました。

1月27日は、新年句会を行いました。「お年玉」「初笑い」という共通の季語を用いて詠んだ句を持ち寄り、気に入った句を選んだり、感想を交流したりしました。ぎんなん句会の先生方から、表現のよいところや、声に出して詠むおもしろさ、さらに上級を目指すための俳句の作り方などを教えていただきました。



1月23日 新企画「ハッピーフェスティバル」で保育園児さんとのふれあい♡

たにはま保育園の皆さんを招待して「ハッピーフェスティバル」というイベントを行いました。園児さんを楽しませようと、皆で話し合い、各学級でブース（遊びの広場）を考えて準備したり、プロジェクトに立候補した高学年が全員遊びや運営の準備を率先して行ったりして、当日を迎えました。喜んでもらおうと、休み時間返上で準備する子がたくさんいました。

いよいよ当日。楽しみでわくわく感が高まっている子供たち。園児さんが危なくないように手をつないで走ったり、ゲームに成功すると温かい拍手をして一緒に喜んだり、しゃがんで視線を下げてお話を聴いたりする姿が、本当に微笑ましく、見ている私達も心が温かくなりました。ハッピーは、一人で作るものではなくて、心を通わせながら誰かと一緒に作るものだなあと感じた幸せな一日となりました。

後日、たにはま保育園の皆さんからお礼のお手紙をいただき、「自分たちのしたことが人を幸せにできた」という喜びで、さらに、心が幸せいっぱいになった子供たちでした。

**2月7日 トランペット鼓隊 引継式 伝統は、次の世代へ…**

谷浜小学校のトランペット鼓隊。その歴史も終わりが近づき、最後の「引継式」が行われました。

特に最後の舞台となった6年生の演奏は、最高でした。最後にふさわしい立派な演奏と指揮に胸が熱くなりました。体育館に響く楽器の音色も、その音をまとめるように振られる指揮杖も、私達の心にいつまでも残っています。6年生、ありがとう！！

最後に、6年生から4・5年生へ、楽器と指揮杖が引継がれました。谷浜小の歴史を受け取った4・5年生の目は、決意にあふれていました。来年度の演奏も、期待しています！！

2月7日 大縄跳び大会 4年生プロジェクトリーダー初挑戦

引継式に続いて、短縄チャレンジ・わかあゆ大縄大会が行われました。この会を運営するのは、4年生のプロジェクトN（縄跳び）の子供たちです。

大縄跳びは、縦割り班ごとにチーム新記録を目指します。声を掛け合って練習した成果を発揮するよう頑張る姿も、この会を盛り上げようと奮闘する4年生も、大変立派でした！

